

## 会議結果のお知らせ

令和6年度第1回宮古市港湾振興ビジョン策定委員会を次のとおり開催しました。

令和6年8月21日

宮古市港湾振興ビジョン策定委員会

- 1 開催日時  
令和6年8月2日（金） 午後3時00分～午後4時00分
- 2 開催場所  
宮古市 市民交流センター 会議室1・2
- 3 議題  
(1) 宮古市産業立市ビジョン等の策定方針について  
(2) 現宮古市港湾振興ビジョンの実績検証について
- 4 会議の概要  
各委員に対し委嘱状を交付した後、会長及び副会長を選任し、議題について説明した。  
詳細は、別紙開催結果のとおり
- 5 問い合わせ先  
産業振興部企業立地港湾課港湾振興係 電話0193-68-9093

## 令和6年度第1回宮古市港湾振興ビジョン策定委員会 開催結果

### 1 出席者（7名）

丹波進、吉田友太、小岩利弘、伊藤秋彦、澤田和嘉子、伊藤祥子、佐々木久志

### 2 欠席者（5名）

及川元、米澤拓、菊地隆、堀口真衣子、山口智弘

### 3 事務局出席者（4名）

産業振興部産業振興次長 小成勝則、産業振興部企業立地港湾課長 竹原和彦、  
産業振興部企業立地港湾課港湾振興係長 鳥居裕司

### 4 傍聴者

なし

### 5 議事等

#### ○委嘱状交付

市長、副市長、産業振興部長は別用務につき欠席のことから、小成産業振興次長より出席者に対し委嘱状を交付した。

#### ○委員長及び副委員長の選出

立候補者がいなかったことから事務局案として、委員長に「岩手県トラック協会宮古支部 佐々木支部長」、副委員長に「釜石港湾事務所 小岩所長」を提案したところ、委員より承認された。

#### ○議事

##### (1) 宮古市産業立市ビジョン等の策定方針について

宮古市産業立市ビジョン等の策定方針について事務局から説明した。

##### (2) 現宮古市港湾振興ビジョンの実績検証について

現宮古市港湾振興ビジョンの実績検証について事務局から説明した

質疑応答内容

質問・意見	回答
<p>【議題(1)「宮古市産業立市ビジョン等の策定方針について」】                      &lt;質疑なし&gt;</p> <p>【議題(2)「現宮古市港湾振興ビジョンの実績検証について」】</p> <p>(委員)                      一時預かり貨物取扱補助とは、どのような制度か。</p> <p>(委員)                      目標に誘致企業数で達成度がゼロであるが、訪問企業をリスト化するなどして行っているのか、どのような形で誘致活動を行っているのか。</p> <p>(委員)                      誘致する企業の範囲は、ふ頭用地への立地企業なのか、それともふ頭に限らず市内全域の立地企業を対象にしているのか確認したい。</p> <p>(委員)                      リアスハーバー宮古の外郭施設整備について、現在の実態として、波が入ってきて使えない状況などが実際にあるのかどうか確認したい。</p>	<p>(事務局)                      市外の企業が市外に向けるための荷物を宮古港で陸揚げし、上屋や野積み場で荷物を保管した場合の港湾施設使用料を補助するもの。同一貨物に対する補助は5年間が限度となる。</p> <p>(事務局)                      製造業だったり、港湾を利用する物流企業だったり幅広くセールスを行っている。また、今年企業アンケートを実施しており、回答内容を参考にしながら訪問したいと考えている。</p> <p>(事務局)                      ふ頭に工業団地があり、基本的にはそこを利用する企業が対象であるが、貨物量増加のためにはそれに限らず港湾を利用する企業を対象としている。</p> <p>(事務局)                      リアスハーバー宮古の防波堤は、北側防波堤を延長する計画とされているが、計画上の延長に達していないため、そこから波が入ってくる。</p>

質問・意見	回答
<p>(委員)</p> <p>NPOマリフィールドはリアスハーバー宮古を管理しており、事務員も常駐しているので、現場に来て直接状況を聞く機会を持って欲しい。(意見)</p> <p>(委員)</p> <p>客船の寄港が増えてきていいことだと思っている。一方で、継続して増えていけば、街中などへの大量の通訳の配置など難しくなってくると考える。また、クルーズターミナルがあった方がよいと思うが、建設の可能性はあるものか。</p> <p>(委員長)</p> <p>毎日ではなくても太平洋を回って北海道へのフェリー航路の誘致など、そういうセールスの方法もあるのではないか。</p> <p>上屋の整備について、考えているのは新設、または既存の倉庫の改修とどちらなのか。</p>	<p>(事務局)</p> <p>令和2年に岩手県で長期構想を策定しており、ターミナルではないがクルーズ船受入のための環境の整備が示されている。10回、15回の寄港だとターミナル建設は難しいかもしれないが、今後もクルーズ船寄港回数を増やししながら、環境整備に向け取り組んでいきたい。</p> <p>(事務局)</p> <p>運送事業者の声を反映させながら、フェリー航路再開に向け取り組んでいきたい。</p> <p>上屋の整備については、食品を取り扱える定温倉庫や、既存の倉庫が現在一杯なので、バラ貨物倉庫でも、新設していただきたいという思いである。</p>